

数学科（実践数学）学習指導案							
年月日	平成28年6月17日（金）第2時限						
年次	2年次	講座	202	教室	202HR	指導者	岩崎 恵女
単元	8 図形			教科書	実践数学（愛媛県立北条高等学校）		
指導目標	1 基本的な計算ができ、物事を数学的に見たり考えたりすることができるようにさせる。			指導計画	1 多角形の内角と外角・・・・・・・・・・1時間		
	2 日常生活において、必要とされる数学的能力を身に付けさせる。				2 平行線と比・・・・・・・・・・1時間 3 三角形の辺の比・・・・・・・・・・2時間 4 面積・・・・・・・・・・3時間 5 体積・・・・・・・・・・2時間 (本時はその3)		
本時の経過	主題	扇形の面積					
	目標	1 作図を通して、扇形の中心角と面積を求めさせる。 2 グループ活動を通して、自分の考えを言葉で表現させる。					
本時の経過	課題	扇形の面積公式を復習してくる。					
	学習活動	時間	指導上の留意事項			資料、評価規準等	
本時の経過	導入	扇形の面積公式を復習する。	5	・扇形の面積公式を活用し、面積を求めさせる。			
	展開	1 本時の課題を理解する。 10m ロープでつながれた犬が動く範囲の面積を求める。	5	・ロープと塀、多角形の一边の長さに着目して、動ける範囲をイメージさせる。			・プリント
		2 グループで活動する。 (1) 塀につながる（半円） (2) 短い塀につながる（複数の半円） (3) 多角形につながる（半円と扇形）	15	・協力しながら、動ける範囲を作図させる。 ・求める扇形の中心角が何度になるのか、着目させる。 ・正多角形の1つの外角の大きさの求め方を確認させる。 ・全員が発表できるように、グループで教え合いをさせる。			【評価規準】 ○積極的に参加できている。 ＜関心・意欲・態度＞ ○作図を通して、扇形の半径と中心角を求めることができる。〈表現・処理〉 【評価方法】 ○演習観察 ○机間指導
	閉	3 発表する。	15	・グループごとに発表させる。			
本時の経過	整理	1 本時のまとめを行う。	10	・本時の課題プリントをまとめさせる。			
		2 次時の内容を確認する。					
備考	生徒数 男子15名・女子19名 計34名						